



令和 2年 7月 22日

(会 派 名) 市民グループ未来の会
(会派代表者) 前川 昌也 殿

(会 派 名) 市民グループ未来の会
(議 員 名) 幹事長 大藤 匡文

実施報告書

下記のとおり実施したので報告します。

実施項目の名称	坂出市議会会派合同研修会
実施場所	坂出市役所本庁舎4階 委員会室
実施日時 (期間)	令和 2年 7月 21日 (火曜日) 10時00分 ~ 11時40分
参加議員名	前川昌也・大藤匡文・植條敬介・大前寛乗・斉藤義明・村井孝彦・ 若谷修治・鳥飼年幸・東原 章
実施内容の概要	議会活性化や資質向上を図るため、全会派及び無所属議員3名の共催により、合同研修会を開催した。 香川大学法学部の堤英敬教授をお招きし「今、市議会に何が求められているか？」について講演をいただき、質疑応答を行った。 【研修内容】 (1) 講演 (80分) ・講師 堤 英敬 氏 (香川大学法学部教授) ・演題 「今、市議会に何が求められているか」 ・地方議会の重要性 ・地方議会の代表性 ・住民の地方議会・議員の見方 ・地方議会の課題の背景 ・住民からの期待に応えるために (2) 質疑応答 (20分) 以下、資料と各参加議員の所見・所感を添付し報告とする。

※ 参考となる書類があれば、添付して下さい。

「今、市議会に何が求められているか？」

講師 香川大学法学部 堤 英敬 教授

【所 感】

今回の研修は、地方議会の重要性、機能について、また、市議会議員選挙の投票率、候補者数の推移、選挙制度の課題等を詳しく丁寧に説明していただき、これまでの議員生活を通した中を含め、再認識した。

また、定数・議員報酬・政務活動費の関係において、特に定数問題については、定数減について、様々なことを考慮していく中での定数を議論していかなければと感じた。

議員として住民の期待に応えるためには、専門性の能力の向上、政策立案のほか情報発信の重要性、また、住民と議会との関係など、今後、議員活動をしていく中、いろいろな観点から模索し、自分自身を高めていく必要性を感じ、取り組んでいきたいと思う。

今回のテーマ、「今、市議会に何が求められているか？」ということでしたので、もう少し本市の市議会として掘り下げた内容が聞きたかったが、今回の研修会は全体的に議員として、また、議会としての全般的な内容が多かったため、自分自身の再認識の研修であったように思う。今後の研修について、テーマを絞った研修ができればと思う。

市民グループ未来の会
会 長 前川 昌也

【所 感】

堤先生の「今、市議会に何が求められているか？」の研修会、地方議会の重要性、地域社会が抱える課題や地方自治体に求められる政策形成、地域社会の抱える課題として、人口減少、少子高齢化、近年の自然災害の増加等、求められる安心・安全な地域社会の重要性、地方自治体に求められる従来にはない新しい発想や幅広い住民の声を聞いた丁寧な合意形成の確立が常に求められている。地方議会の機能、投票率・職歴・年代・性別等の分析、住民は地方議会をどう見ているのか、幅広いお話を頂いた。また、住民からの期待に応えるために専門性の向上や情報発信、住民の議会への参画など課題、議員定数削減は慎重に考えたほうが良いとお話しもあった。

議会として、多くの課題解決に向け取り組んでいるが、まだまだ満足できる結果ができていないと思う。堤先生のお話を参考にし、住民の期待に応えるために、しっかりと

取り組んでいかなければならないと思う。昨今、全国的に新型コロナ対策関連の議案が次々と提出されているので当面はここに集中して、次の議員研修も期待したい。

市民グループ未来の会
幹事長 大藤 匡文

【所 感】

今、市議会に何が求められているか？このテーマをもとに研修を受けました。

私たち坂出市議会は議会基本条例を制定し、議員の資質向上だけでなく市民の多様な意見を把握したり、市民の負託に応える義務があります。

そこで講義の中で、まずは地方議会の重要性についてのお話でした。持続可能な地方自治体としてやっていけるのか、少子化が収まるのかは見通しが立たない。この点については特に地方自治体として、またグローバル経済の進行と地域経済の活性化など大きな課題です。また自然災害の増加などにより安心安全な社会を作りあげ、今後は従来にない新しい発想が必要になります。

更には持続可能な自治体経営を進めていくには、痛みを伴う改革も必要である。そのためには多様な価値観と幅広い住民の声を聞きながら合意形成をしていかなければなりません。

首長の行動力は重要であるが、議員の役割は多様な考えを持つ方の集まりであるからこそ、市議会としての役割は重要になります。

今回の研修では、地方議会の機能や市議会議員選挙の投票率の話など、地方議会のイメージから有権者からみた政治意識など様々なお話をいただきました。今後は市議会を集中専門型議会、多数参画型のどこに位置付けるかなど、少数の専門家が能動的に政策形成と多様な人材の意見を自治体行政に反映していかなければなりません。住民からの期待に応えるために専門性の向上と政策形成力の向上と議会事務局の立法機能と調査研究機能の強化が重要であると思います。

今後も私たち議員はこういったことを常に意識して議員活動に邁進していかなければならないと感じています。

市民グループ未来の会
植條 敬介

【所 感】

昨今の世相の情勢といえば、議会離れもつという政治離れの傾向がないとはいえない。自由を主張すれば、責任が追従してくるものである。生きづらい世の中に対して市民は政治に何を要求するのか？

今や、開かれた議会を目指し、議会報告会と称し、何度も市民に周知している。少し

でも市民が議会を身近に感じ、要求を発言しやすくする場を設けてきた。核家族、個を重視する時代となり、周りをつながりをつなぐようになり、共存という言葉は死語に近いと感じている。

現実、どれだけ議会報告会が住民に浸透してきたか、検討すべきではないか。また、新型コロナウイルスの感染の対策が早急に求められているわけだが、議会の役割は常に流動する世相に対し、新しい政策をいち早く市民に提供できるようにすることである。現在の政策を提言する体制は会派主導で行われているわけだが、さらに外部団体等と連携し、検討する枠を設けていくことが必要と思われる。どういう体制にもメリット・デメリットがあるわけで住民の声を正確に政策につなげる方策を再考していく時期にきているのではないかと考える。

最後に地方議会の重要な位置づけとして多様な住民の声を首長とともに原点に立ち戻り、住民の代表として住民に関心をもってもらえるような議会に改革を行うことが必要と考える。

市民グループ未来の会
大前 寛乗

【所見】

市議会の重要性、機能など基本的な事、市議会における一般的な課題、候補者の実態、そして坂出市議選の候補者数、投票率等データに基づく説明がなされた。その中で、坂出市内の過去の投票率の推移をみると、市議選は国政選挙よりもかなり高い水準にあったが、現在ではほぼ同じか、下回る傾向になっているのは、残念なことであり正直反省点であると思う。

また、前回の2019年統一地方選において、有権者の議員に期待する役割では1位が地域の発展を考える。2位が市全体の将来を考える。3位が地域の面倒をこまめに見るとなっているが、これは有権者の建前であって、実際には議会に対する反応は鈍く、私は投票行動とは現実に結びついていないように感じる。

地方議員選挙制度についても比例代表制、制限連記制等ユニークな考えも紹介されたが、まだまだ研究段階であって現実問題としては無理があるように思えた。

一方、議員定数・報酬、政務調査費は目指す議会像、求められる議員数に応じて決められるべきという点は共感できる。また、「住民の期待に応えるために」の項目で指摘されたが、私自身も同様に、今の理事者の対応を考えたとき、会派により政策立案できるような研鑽は重要な課題だと思う。

今後も、このような研修会は継続的に開催することによって、議会・議員のコミュニケーション、資質の向上につながると思う。

市民グループ未来の会
斉藤 義明

【所 見】

講演構成として5項目であったが、講師自身が国政、選挙の専門家であり、全般的には我々自らがもう一度地方議員たる原点に立ち返る機会には十分になった。特に、各種資料をもって現市議会議員選挙の現状や有権者の反応等十分に理解しつつも、やはり地方議員の弱点、問題点、これからのあるべき姿への挑戦、そして議員・議会の努力もふまえ、有権者たる住民の理解と一体化については、その重要性や必要性は再度確認した。しかし、これらは現坂出市議会の現議会条例の充実・確行による解決が主であり、実践過程である事も自負すべきと考える。

最後に「選挙制度と市議会の課題」等、その他の全国的な内容については、自分自身としての課題として、これからの研鑽の資とさせてもらいたい。全国的資料・情報・動向は大いに参考としつつ、本市坂出の実情を踏まえて考えたい。

市民グループ未来の会
村井 孝彦

【所 見】

研修会に参加して、一番に気になったところが『住民は地方議会をどう見ているか?』というところです。私もよく「議員さんは、普段何をしていますか?」また「何をやりたいのか分からない」と言われたりします。市長と違って議員は露出度が少ない。議員が個人的に SNS などを活用し活動内容を発信しておりますが、これからは『議会の見える化』を推進することで、例えば、坂出市議会でフェイスブックのアカウントを取得し、定例会の本会議や各常任委員会での審議している内容や正副議長や各常任委員長が、ご案内をいただき出席した会合やイベント内容など様々な活動を積極的に発信してはとを考えます。そうすれば、市民の皆さんから「この前、〇〇に参加しとったね」「議員さん、忙しそうやね」と言われるようになるのではと考えます。

市民グループ未来の会
若谷 修治

【所 感】

議員の自己研鑽を目的とした、このような会派合同研修会は、初めてのことで第一回目「今、市議会に何が求められているか?」をテーマに、研修会を開催いたしました。

「地方議会の重要性～住民からの期待に応えるために」まで、坂出市議会議員選挙の投票率の推移、候補者数等のデータをもとに、地域社会の抱える課題、地方議会の機能、議員の役割、市議会の課題等、幅広く講演をいただきましたが、そんな中でも気になっ

たことは、市民の議会に対する関心の低さであります。地方議会や議員に関心があるのは約4割なのですから政治に期待していないということなのでしょう。

市民からの期待に応えるために議会を改革し存在意識を高め、市民に対する説明責任を果たすこと。また、将来の課題全般について市民の意見を的確に把握するとともに、住民代表として応えられる自己の能力を高め、情報発信のための努力は続けていく必要があるということです。

議員の資質向上も大事ですが、同時に市の規模や住民の多様性を考えれば、市議会議員には一定の専門性が求められているということです。

一時間の関係で最後のところで今回のテーマである「今、市議会に何が求められているか？」がもう少し詳しく聞くことができなかつたのが残念であります、大変充実した研修会となりました。

私の議員になったきっかけは本市の発展です。初心に立ち返り、自己研鑽に努め議会の活性化を図り、実績を作つて市民の皆様から厚い信頼が得られるよう全力を尽くします。

市民グループ未来の会
鳥飼 年幸

【所 感】

議員が同じ問題を共有するという観点では、有意義な研修であった。しかしながら、投票率を上げたい、議会の活動をもっと市民の皆さまに知ってほしいなど、解決まで行かないまでも、ヒントとなるような言葉は欲しかった。専門家でも、正解には至っていないと言うこと、全国的に若手の議員たちが知恵を出し合つて、いろいろ試みてはいても目を見張る成功例は出てきていない。後ろ向きな議員がいることも事実である。

何度も見せられた、年代別投票率や選挙別投票率、地域別の投票率。結局は議員の努力不足と言われて、終わっている。

今までもよく聞いた話で、研修の題（今、市議会に何が求められているのか？）についての結論が示されなかつた。もっと全国的に取り組まれている事例を紹介してもらつて、視察等につながるような話も聞きたかつた。

市民グループ未来の会
東原 章